

令和7年国勢調査 第2次試験調査 (案)

令和4年12月

国勢統計課

令和7年国勢調査 第2次試験調査の概要

調査目的

令和7年国勢調査実施計画の立案に当たり、調査環境の変化に対的確に対応するための調査方法等必要な事項を実地に検証し、実施計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的

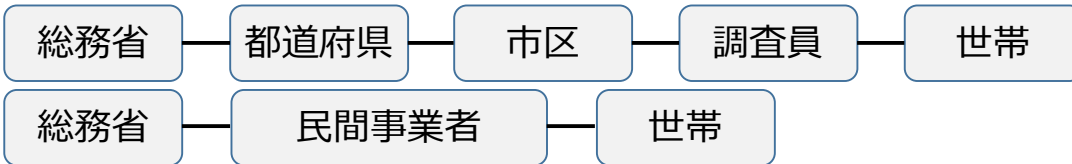
調査期日

令和5年6月21日（水）

調査対象

7都府県8市区 96調査区（1市区あたり12調査区）及び8調査区（業務委託）
調査日現在、対象調査区に常住するすべての人・世帯(約5,000世帯)

調査の流れ



調査方法

調査員が全世帯を訪問し、調査票等の調査書類一式を配布
回収はオンライン（インターネット回答）、郵送、調査員

※一部地域は委託

	令和4年							令和5年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
会議							◎ 有識者会議（局）				◎ 都府県・市区町 事務打合せ会（局）	◎ 調査員事務 打合せ会			◎ 事後報告会 （局）
調査地域		実施県の調整 →	◎ 事務連絡		調査区候補の抽出 →		▼調査区選定依頼 →	◎ 内定		◎ 通知					
委託費			◎ 概算額の通知 （内々示）		積算、総務課との調整 →			◎ 内示		◎ 交付決定					
実施計画		実施計画の検討 - - - - -					政策統括官室との調整 →			◎ 承認					
調査書類・ 用品					原案の作成・検討 →					調達手続 →	◎ 契約	◎ 納品（実査用）			

試験調査

第2次試験調査の調査対象地域

調査対象地域の選定基準

- ①調査事項の検証 → 全国6ブロックから回答率の高いエリア（市区）を選定
※高齢郵送回答世帯が多いところも一定程度調査区選定
- ②調査困難地域の調査方法の検証 → 東京都新宿区、豊島区において業務委託を実施

()内は調査区数

都道府県	市区
岩手県	花巻市 (12)
東京都	新宿区 (20)、豊島区 (12)
神奈川県	横浜市戸塚区 (12)
三重県	桑名市 (12)
京都府	京都市下京区 (12)
徳島県	鳴門市 (12)
長崎県	佐世保市 (12)

第2次試験調査における検証事項

令和2年国勢調査及び令和7年国勢調査1次試験調査の実施状況を踏まえ、以下の点を検証

1 調査スケジュール及び調査関係書類の配布方法の見直し

共働き世帯が増え、平日昼間は、調査員が世帯と接触できないことが多いことから、調査票の配布にあたっては、土日を2回組み込むこととし、調査員が世帯と接触する機会をできるだけ確保できるか検証。

また、調査関係書類の配布方法は第1次試験調査のA調査方式（接触型）を基本とし、B調査方式（非接触型）の『はじめにお読みください』を調査関係書類として追加。世帯不在等の場合はポスティングでの配布も可能とする。なお、『はじめにお読みください』、『インターネット回答利用ガイド』についてはオンライン回答促進を全面に打ち出した内容とし検証。

2 共同住宅の管理会社等への業務委託

国から共同住宅の管理会社等への業務委託を行い、一括契約の仕組みを検証するとともに、聞き取り率の抑制や高齢者世帯のオンライン回答促進につながるか検証（新宿区、豊島区）。

3 回答支援専用コールセンターの設置

統計委員会からオンライン調査の更なる利用促進方策について検討するよう指摘があったことから、令和7年国勢調査第2次試験調査のコールセンターにおいては、通常の世界帯からの問合せに対応するコールセンターのみでなく、高齢者世帯等でオンライン回答を希望するが操作が困難である世帯について、オペレータが回答支援を行う、回答支援専用コールセンターを新たに設置し検証。

第2次試験調査における検証事項（続き）

令和2年国勢調査及び令和7年国勢調査1次試験調査の実施状況を踏まえ、以下の点を検証

4 調査事項の精査

第1次試験調査の調査事項を踏襲しつつ、令和4年5月13日～6月15日に実施した調査事項の要望把握等の回答状況を集計・精査。

- ・「世帯の種類」及び「住宅の建て方」については、第1次試験調査の記入状況結果を踏まえ、調査員の負担軽減の為、引き続き世帯記入欄として把握する方向で検討。
- ・「5年前の住居の所在地」及び「居住期間」については、利用者ニーズを踏まえると、「現在の住居における居住期間」及び「5年前の住居の所在地」を調査事項とすることにより、我が国の人口移動の状況が、移動者の属性などのデータとともに、地域別に把握できることとなり、実態の把握や、より正確な地域別将来人口の推計を行うことが可能となることから、国勢調査の簡易調査年の調査事項とする方向で検討。

5 オンラインシステムの改善

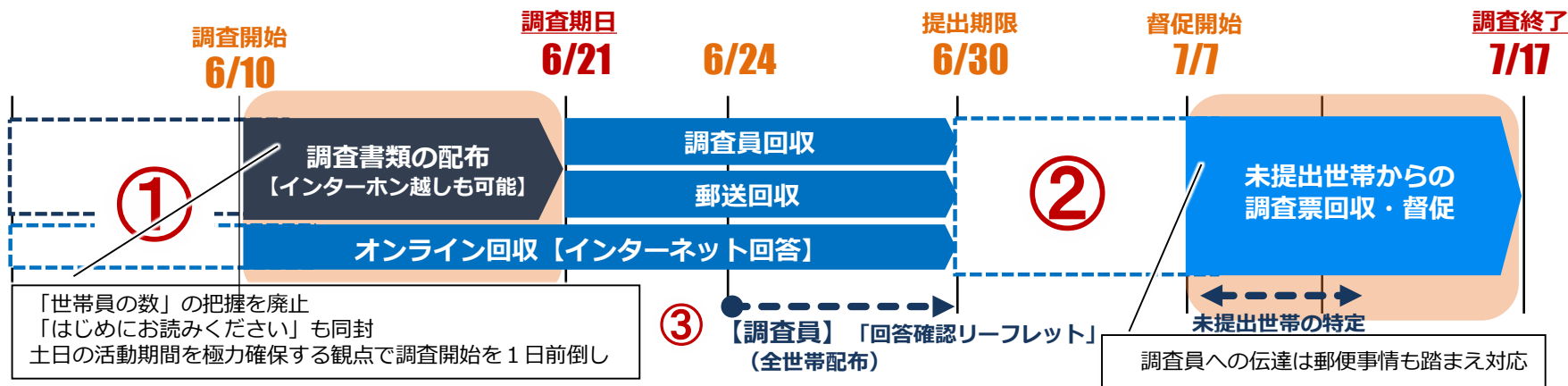
オンライン回答の促進、利用者の利便性の向上を図るため、以下の機能追加等を行い、オンライン回答率や利用者アンケートの結果を分析、効果を検証。

- ・画面構成や画面デザインの改善
- ・QRコードの利用による容易にログイン可能な仕組みの導入
- ・回答データの一時保存機能、回答者自身によるパスワード再設定機能の追加

令和7年国勢調査 第2次試験調査 調査スケジュール (案)

- ・ 第1次試験調査同様、① 調査書類の配布開始を1週間延期し、② 提出期限～督促開始の期間を1週間確保
- ・ 第1次試験調査の状況を踏まえ、回答確認リーフレットの③ 配布を郵便局から調査員に変更
- ・ 調査方法は、従来型を原則としつつ、調査困難地域については変則型も可能

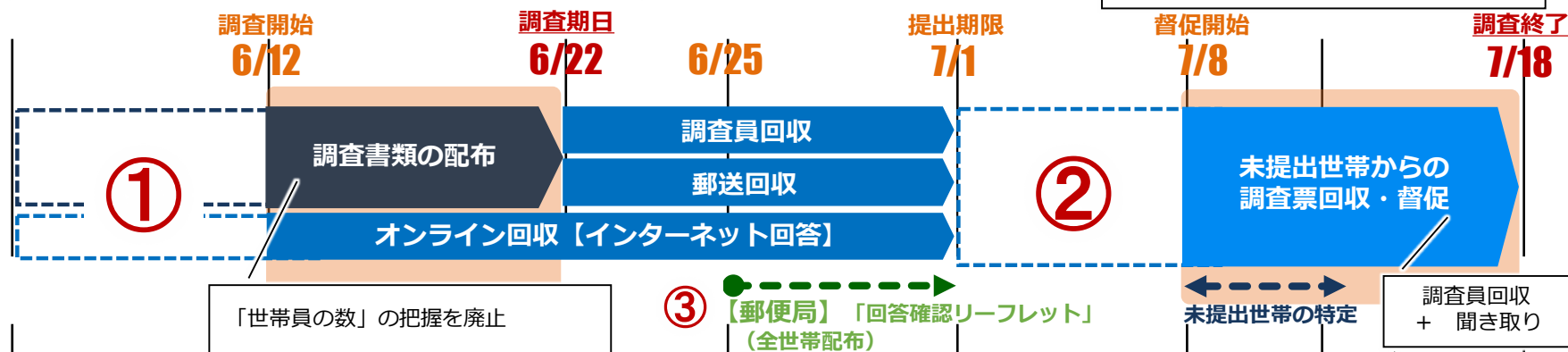
2次試験調査



1次試験調査

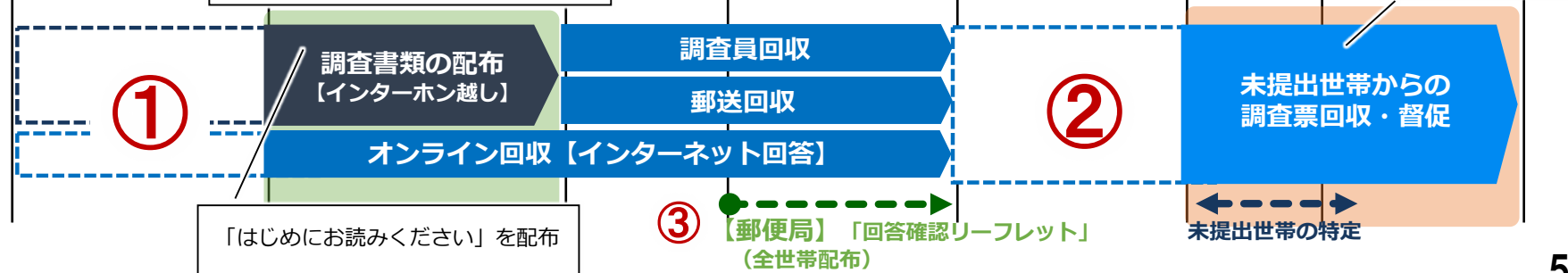
A 調査方法

従来型



B 調査方法

令和2年 変則型



収納する調査関係書類

1次試験調査B方式の、①はじめにお読みください、②インターネット回答利用ガイド、③調査票、④調査票の記入のしかた、⑤郵送提出用封筒の5点を調査書類収納封筒に収納して配布。調査書類の配布は従来型を基本とするが、世帯不在等の場合はポストイングも可とする。

なお、①はじめにお読みください、②インターネット回答利用ガイドの2点については、地方公共団体の意見も踏まえ、オンライン回答促進を全面に打ち出した内容を検討



重要
必ずご覧ください
【調査書類収納封筒】

国勢調査のお願い

Request for cooperation in the 2020 Census 人口普査的請求 国勢調査 簡潔 요청

<国勢調査には回答の義務があります>

国勢調査は、統計法という法律に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯（外国の方含む）に回答の義務がある大切な調査です。必ずご回答ください。

インターネットでの回答が とても便利です
Please submit responses online. 国勢調査は郵送でも回答できます。インターネットでも回答できます。

回答がかんたん!
レスポンスが速い
24時間回答できる!
24時間いつでも回答できます。
調査員の訪問なし!
調査員が来なくても回答できます。

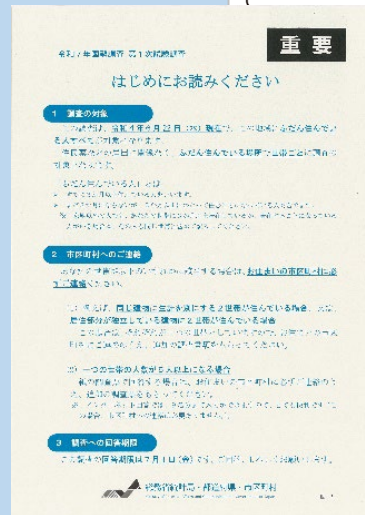
インターネット回答は9月14日(月)から10月7日(水)まで
Complete the census online between September 14(Mon) and October 7(Wed).

紙での回答
10月31日(火)まで
紙の調査票で回答することもできます。（くわしくはうら面へ）

調査についての問合せは
Inquiries about the 2020 Census
国勢調査コールセンター
☎ 0570-07-2020
受付時間：10月31日(火)まで
受付時間：午前8時～午後9時

総務省統計局・都道府県・市区町村
Ministry of Internal Affairs and Communications, Government of Japan
国勢調査2020 | 国勢調査 | 1-14
https://www.kokusei2020.jp/

調査書類収納封筒



重要
はじめにお読みください

1 調査の対象

「国勢調査」は毎年10月1日現在の世帯・世帯員を対象に行われます。国勢調査は、統計法という法律に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯（外国の方含む）に回答の義務がある大切な調査です。必ずご回答ください。

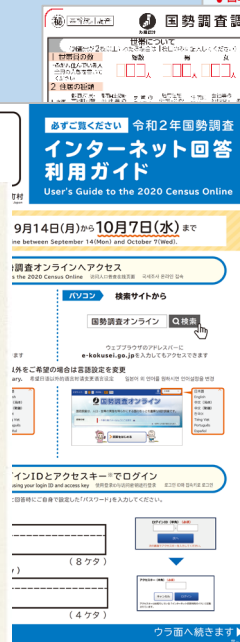
2 市区町村への連絡

国勢調査は、統計法という法律に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯（外国の方含む）に回答の義務がある大切な調査です。必ずご回答ください。

3 世帯への直接訪問

国勢調査は、統計法という法律に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯（外国の方含む）に回答の義務がある大切な調査です。必ずご回答ください。

はじめにお読みください



重要 必ずご覧ください 令和2年国勢調査 インターネット回答 利用ガイド

User's Guide to the 2020 Census Online

9月14日(月)から10月7日(水)まで
on between September 14(Mon) and October 7(Wed).

調査オンラインアクセス
The 2020 Census Online: 国勢調査オンライン

パソコン 検索サイトから
国勢調査オンライン

スマホから
国勢調査アプリ

イン10とアクセスコードでログイン
Enter your login ID and access code. 国勢調査オンライン

（8ケタ）
（4ケタ）

ウラ面へ続きます▶

インターネット回答利用ガイド



重要 必ずご覧ください 令和2年国勢調査 調査票の記入のしかた

国勢調査は、国の最も重要な統計調査です

調査票の記入は、黒の鉛筆で

どう書けばよいの？
場所・決め方
2・3ページ

どう書けばよいの？
記入例・しかた
4～9ページ

どう書けばよいの？
仕事の記入の書き方の例
10～15ページ

この冊子では、国勢調査の調査票の記入のしかたについて、詳しく説明しています。

郵便局私書箱 999-9999
999番人
郵便局私書箱 〇〇〇〇

郵送提出用封筒

調査票の記入のしかた

調査票

業務委託の検証（マンション管理会社）

国勢調査の現状

国勢調査では、国が任命した国勢調査員が直接世帯を訪問し、調査書類の配布・収集等の事務を行っているが、オートロックマンションの増加等により、世帯と接触することができず、回答を得られないケースが増えつつある。また、調査員のなり手不足や高齢化もあり、調査員の確保も年々厳しくなっている。

このため、平成27年（2015年）国勢調査から、調査員事務をマンション管理団体等に委託できる仕組み（以下「民間委託」という。）を導入し、結果、オートロックマンションへの対応や調査員確保策として、一定の成果を得ている。

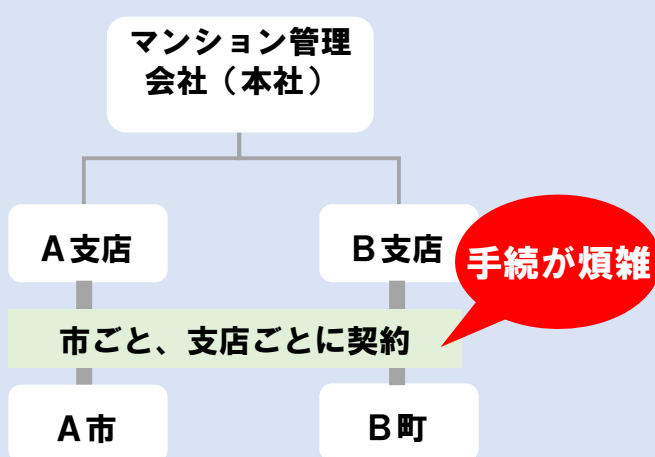
一方で、令和2年国勢調査における民間委託件数は1000件程度と、まだまだ活用の余地が残されている。契約手続きを含め、更なる活用方策の検討が必要である。

令和7年国勢調査に向けた課題

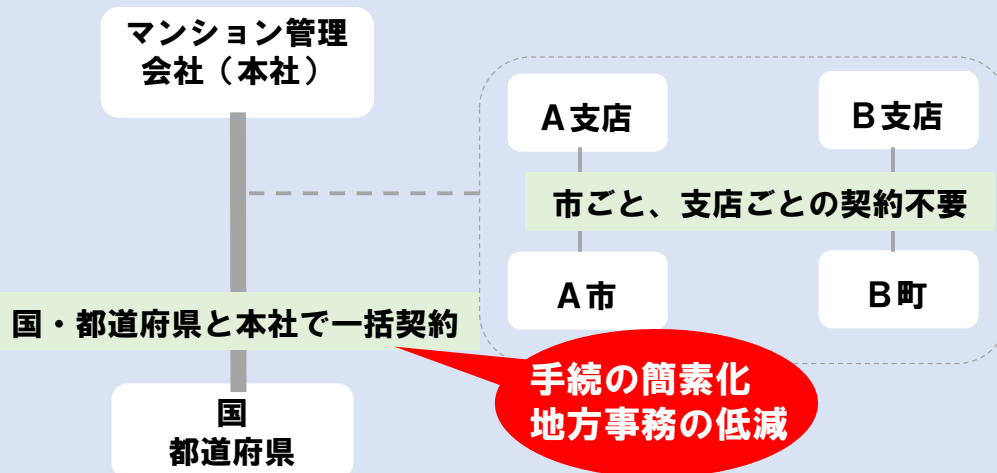
- オートロックマンション等の増加に伴い国勢調査員による調査が困難な状況を踏まえ、調査員業務の円滑な実施に資するため、地方公共団体における調査員業務委託の更なる推進を図る。
- また、地方公共団体において、個別の委託業務に係る手続きが困難な状況も報告されていることから、本社で一括契約が可能な管理会社がある場合は、国において一括契約できる仕組みを検証する。

→ 第2次試験調査では、新宿区及び豊島区において調査員業務委託の一括契約を行う。

【現行の仕組】



【変更後の仕組（案）】



回答支援専用コールセンターの設置

- 調査期日から提出期限までの一定期間、回答支援専用コールセンターを設置し、高齢者世帯等でオンライン回答を希望するが操作が困難である世帯について、オペレータが回答支援を行い、オンライン回答の推進を図る。
- 令和7年本調査に向けて、オペレータの事務の精度検証及び回答支援専用コールセンターのニーズを検証。



(参考) 令和2年国勢調査コールセンター フェーズ別着信数、応答数及び応答率

フェーズ	着信数 (件)	応答数 (件)	応答率 (%)
第1期間(9月7日～9月13日)	12,393	12,344	99.6
第2期間(9月14日～9月30日)	522,719	481,322	92.1
第3期間(10月1日～10月7日)	230,554	205,161	89.0
第4期間(10月8日～10月15日)	81,057	77,830	96.0
第5期間(10月16日～10月20日)	71,192	63,660	89.4
第6期間(10月21日～10月31日)	33,965	33,857	99.7
第7期間(11月1日～11月20日)	5,416	5,415	99.9
第8期間(11月21日～11月30日)	970	961	99.1

調査事項の精査

【世帯の種類・住宅の建て方】

1 世帯の種類 一般世帯 (一人世帯 会社等の 独身寮の入居者を含む) 学校の寮・ 寄宿舎の 学生・生徒 病院・療養所 の入院者 老人ホーム等 の社会施設 の入所者 その他	2 世帯員の数 総数 男 女 ・ふだん住んでいる人 全員の人数を書いて ください [] [] [] 人 [] [] [] 人 [] [] [] 人
3 住居の種類 持ち家 民営の 賃貸住宅 都道府県・ 市区町村宮 の賃貸住宅 都市再生機構 (UR)・公社等 の賃貸住宅 給与住宅 (社宅・公務 員住宅など) 住宅に 間借り 会社等の 独身寮・ 寄宿舎 その他 4 欄へ 5 欄へ	4 住宅の建て方 建物全体 住んでいる の階数 住宅のある階数 一戸建 共同住宅 (アパート・マンションなど) 長屋建 (テラスハウスを含む) その他 [] [] 階建 → [] [] 階

⇒ 第1次試験調査の記入状況結果を踏まえ、調査員の負担軽減の為、引き続き世帯記入欄として把握する方向で検討

【5年前の住居の所在地・居住期間】

10 現在の場所に 住んでいる期間 ・生まれてから引き続き現在の場所 に住んでいる場合は 出生時から のみに記入してください	出生時 出生時から 以外 年 未 5 10 20 未 未 未 未 未 満 満 満 満 満 以上 ウラ側へ 欄へ ウラ側へ	出生時 出生時から 以外 年 未 5 10 20 未 未 未 未 未 満 満 満 満 満 以上 ウラ側へ 欄へ ウラ側へ	出生時 出生時から 以外 年 未 5 10 20 未 未 未 未 未 満 満 満 満 満 以上 ウラ側へ 欄へ ウラ側へ	出生時 出生時から 以外 年 未 5 10 20 未 未 未 未 未 満 満 満 満 満 以上 ウラ側へ 欄へ ウラ側へ
11 5年前(平成29年6月22日) にはどこに住んでいましたか ・平成29年6月22日より後に生まれた 人については 出生後にふだん住ん だ場所を記入してください ・5年前に 同じ市内の他の区 に住んでいた場合は他の区・ 市町村に記入してください ・他の区・市町村の場合は 都道府県・市区町村名も 書いてください (東京都区部と政令指定 都市の場合は区名まで)	現在と 同じ区・市 他の区・市町村 外国 場 所 他 の 場 所 (住んでいた場所を 左づめで記入)	現在と 同じ区・市 他の区・市町村 外国 場 所 他 の 場 所 (住んでいた場所を 左づめで記入)	現在と 同じ区・市 他の区・市町村 外国 場 所 他 の 場 所 (住んでいた場所を 左づめで記入)	現在と 同じ区・市 他の区・市町村 外国 場 所 他 の 場 所 (住んでいた場所を 左づめで記入)

統計委員会からの指摘及び社会情勢の変化を踏まえ検討
 ※住民基本台帳人口移動報告の代替可能性についても整理・検証を行った上で、報告者負担にも配慮しつつ、継続的に把握することを検討 (統計委員会指摘 抜粋)

⇒ 利用者ニーズを踏まえると、「現在の住居における居住期間」及び「5年前の住居の所在地」を調査事項とすることにより、我が国の人口移動の状況が、移動者の属性などのデータとともに、地域別に把握できることとなり、実態の把握や、より正確な地域別将来人口の推計を行うことが可能となることから、国勢調査の簡易調査年の調査事項とする方向で検討。

オンライン調査システムの概要（イメージ）

国勢調査オンライン調査システム （第2次試験調査）

調査世帯 （インターネット回答）

- ・世帯員に関する事項
 - ・世帯に関する事項
- を報告

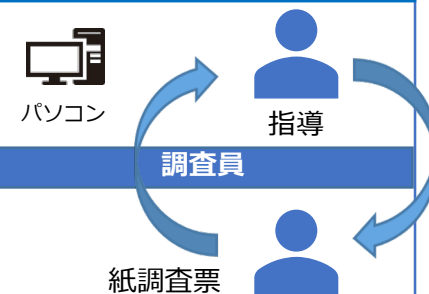


オンライン 回答システム

利用機関システム

- ・業務ポータルサイト
- ・実査準備 機能
- ・実査管理 機能 など

国・都道府県・市町村 （回答状況把握）



コールセンター （問合せ対応）



民間サポート （郵送受付状況登録）



利便性の向上

- ① 画面デザイン向上
- ② QRコードログイン
- ③ 一時保存機能
- ④ パスワード再設定機能

操作性の向上

- ⑤ 画面デザイン向上
- ⑥ 配布誤り修正機能の改善

システム関係 検討状況

令和7年国勢調査第2次試験調査に向けた、システム関係の主な検討課題は以下のとおり。

No	検討課題	機能等の説明	目的・効果
1. オンライン回答システム（公開側システム）			
①	画面構成・デザインの検討	画面構成、デザインのリニューアルにより、より回答しやすくする	オンライン回答促進、利便性の向上
②	QRコードを用いたログイン方法の検討	従来のフォームへの手入力によるログインに加えて、QRコードを読み取ることでもログインできるようにし、ログイン情報の入力の手間を省く	オンライン回答促進、利便性の向上
③	回答データの一時保存機能の検討	回答を途中で一時中断し、後で続きから回答することを可能とする (メールアドレスの登録が必要)	利便性の向上
④	パスワードを忘れた際のパスワード再設定機能の検討	回答を再開したいときや回答を修正したいときに、設定したパスワードを忘れた場合でも、システム上で再設定可能とする (事前にメールアドレスの登録が必要)	問合せの軽減、利便性の向上
2. 利用機関システム（業務ポータルサイト、実査準備、実査管理 など）			
⑤	画面構成・デザインの検討	画面構成、デザインのリニューアルにより、操作性を向上させ、業務効率改善につなげる	操作性の向上
⑥	配布誤りに係る修正機能の検討 (見直し)	ログイン情報の配布誤りによる、世帯番号と回答者ログインIDの対応状況の不整合を修正する機能について見直しを行い、操作性を向上させる	問合せの軽減、操作性の向上

システム関係 主な機能追加イメージ

① 画面デザイン向上

図を用いてトップページに回答の流れを表示し、回答者が一目で必要な操作を理解できるよう改善

かんたん3ステップ
ステップ01 ログイン | ステップ02 回答入力 (全13~16問) | ステップ03 確認して送信

回答をはじめよう

画面構成・デザインの改善によるオンライン回答促進
※ 視覚的に分かりやすく、短時間で理解されやすい画面構成に見直し

② QRコードログイン

QRコード読み取り

ログインID (半角)
abcd - 1234

次へ進む

※自動入力

アクセスキー (半角)
wxyz

次へ進む

QRコードを用いたログイン情報の自動入力による入力負担の軽減

③ 一時保存機能

一時保存

一時保存時の回答内容から再開可能

一時保存後 ログアウト・再ログイン

回答内容の途中保存・回答再開が可能となることによる利便性の向上

④ パスワード再設定機能

パスワード (半角)

次へ進む

パスワードを忘れた方はこちら

本人確認用メール送信

パスワード再設定

パスワード (必須)

確認用パスワード (必須)

パスワードを登録する

パスワードを忘れた際に回答者自身でパスワードの再設定が可能となることによる問合せの軽減